

株主各位

第 44 期定時株主総会へのご出席御礼

2024 年 6 月 26 日に開催いたしました「第 44 期定時株主総会」、また、株主総会終了後に開催された「経営近況報告会」には約 80 名の株主様のご出席を賜り、誠にありがとうございました。

経営近況報告会では、各担当取締役より中期経営計画 2024 に沿ったご説明を差し上げ、ご出席の株主様から多くのご意見・ご質問をいただきましたので、その主な内容をご報告いたします。

冒頭、代表取締役社長 高橋よりコメント

株価下落によりご心配をおかけしており、誠に申し訳ございません。市場における株価についての評価は、発言自体がインサイダーに抵触する要素があるため差し控えますが、今回の株価下落は市場による当社の評価であり、大変重く受け止めています。業績を上げることで、株主様、ステークホルダーの皆様利益の還元ができるよう努めて参りますので、引き続きご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

質疑応答

[問] 利益が 1 株当たり 100 円以上出ていて配当がないのはどうしてか？単体で赤字だから配当しないというのが、連結の業績で配当しても良いのではないか？

[答] 配当は単体で判定するよう法律で定められています。昨年までは法律で定められた分配可能額がマイナスであったため配当をお出しすることができませんでしたが、第 44 期については子会社からの配当金等により一時的に分配可能額がプラスになりました。そのため、法的に配当を行うことは可能でしたが、皆様ご存知の通り単体で 8 期連続営業赤字が続いているため、今回は配当を見送らせていただきました。まずは単体で営業黒字化を達成し、株主の皆様へ安定的に利益分配を行いたいと考えておりますので、大変申し訳ございませんが、もうしばらくお時間をいただくようお願い申し上げます。

[問] 人材の確保を目標にあげているようだが、他社も欲しい人材を確保するのが難しい中で、社外から人を採るより、社内の人材を教育したり社内の人材が辞めないようにした方が良いのではないか？社内育成についてどう考えているのか知りたい。

[答] 当社はカセットテープから始めて CD・DVD へと替わり製造を行ってきた。構造転換

をして行くにあたり、ナノマテリアルの電波吸収や導電性など、電気やメカの知識が必要になったりする。その辺りのところで光ディスク関連からの元々の技術メンバーが活躍しているという実績もある。材料の知識だけでなく機能性という面で多岐にわたる技術が必要となり活躍している。

過渡期なのでついていけなくなる方もいますが、そうならないためにも、評価制度や教育を積極的に進めていきます。

[問] 昨年の中期経営計画に業績を上げて株価を上げるとあり、優待の見直しや IR を積極的にやると期待していたが、何もなかった。また、IR の問い合わせについて、電話してもホームページからメールにて質問してくれと言われた。株主優待も上げたらどうか？業績は上がっても株価は上がっていない。従業員・株主・取引先に信頼される会社にすべきであり、考えた方を聞きたい。

[答 1] IR の問い合わせについて、お電話でのお問い合わせは受けつけておらず、ご不便をおかけし申し訳ございません。メールでの対応とさせていただいている理由としましては、言った言わないの問題が起らないようにするためと、回答者がインサイダー情報を出していないことを保証するため、また、メールでご質問いただき、回答の順番をお待ちいただいている株主様に不公平となってしまうこともあり、ホームページからのお問い合わせをお願いしております。今後、IR 担当者の人数を増やす等し、これらの課題に対応できる体制を整えてまいりますので、お時間をいただきたい。

IR を積極的にやってほしいという点につきましては、当社は製造業ですので短いサイクルでお知らせできることは発生しませんが、事象が発生した時と四半期ごとの開示については、単なる情報開示ではなく、当社の成長性をお示しできるようにしていきたいと考えております。

株主優待につきましては、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに中長期的に応援していただくことを目的として、持ち株数にかかわらず長期株主優待制度を設けております。配当がない中での株主様への還元には法的な問題もございますが、検討してまいります。

[答 2] 現在は過渡期であり、お金を使うことを優先してやっていくこともございますが、株主様との信頼関係は重要だと考えています。

[問] ナノマテリアルについての 3 期の利益について、売上・利益はどのようなベースで作られていますか？また、その中身はライセンスの売上なのか、サンプル出荷の延長なのか？生産はどこで行うのか？

[答] 生産は福島双葉工場で行います。

売上の内容について詳細はお答えできませんが、確度を見ながら進めています。航空宇宙も大きいですし、電気・自動車と燃料電池が多くなっています。放熱材関連が半導体で熱を逃がす必要性から引き合いが増えており、電波吸収の引き合いも増えています。採用が近づくにつれてお客様の要求が多くなりますが確実に進んでいます。当初の予定より進捗が遅れており株主の皆様にご心配をおかけしているが鋭意努力しています。ライセンスの売上はございません。

[問] 中期経営計画についてナノマテリアルの売上・利益が下方修正された。最終段階で時間がかかっているとのことだが、それ以外に他社の競合に負けているということや、市場が縮小しているということはあるのか？

[答1] 時間を要しているということだけで、ライバルは出てきておりません。カーボンナノチューブ等色々ございますが、そちらから切り替えるお客様もおります。安全性の確認が必要な産業は、特に時間がかかっています。

[答2] カーボンナノファイバーを混ぜる技術が難しいのですが、当社はその技術を有しておりそれを取引先様にお伝えしております。

[問] アメリカからの通達で、アメリカから材料が入らないということがあったことだったが、中国の子会社がアメリカとの関係で不利益を被ることはあるのか？チャイナリスクについての考えを聞きたい。

[答] アメリカからも日本からも入らないという状況は、逆にチャンスだと思っています。取締役の吹野主導で現地で采配しており、中国国内で開発ができる。吹野には縛りがなく、中国において当社子会社は外資系企業のイメージではない。また、中国のマインドは強く、失敗してもやり直すバイタリティが強みであり、チャイナリスクはないと考えている。

[問] 株価が落ちている中で明るいメッセージをいただけますか？

[答] 光ディスク関連事業を終了し、いよいよ機能性材料メーカーに変わります。世界に通じる企業になるよう、また、社会に貢献できるよう努力していきます。防衛産業、航空宇宙産業にも積極的に入るつもりです。電波を通して熱に強く放熱性に優れている材料はCMCしかないと思います。

[問] 新株予約権は10回目の行使価格が1000円ですが大丈夫でしょうか？

[答] 新株予約権の行使価格 1000 円については、現時点で予定を変えることは考えておりません。何か材料を持っているということになってしまいますので、この場で大丈夫ですという断言できませんが、予定を変えることは考えておりません。万が一の場合に中期経営計画に影響があるのではないかとのご懸念がおありなのではないかと思いますが、優先度の高いものから進めておりますし、M&A についても小規模、中規模を中心に複数考えておりますので、問題ありません。行使完了前に大きな案件が出てくる可能性もありますが、その場合は、当社の利益拡大に繋がるものであることが想定されますし、株主様にとりましても、良いお知らせになるのではないかと思います。状況に応じて、他の方策も含め検討し柔軟に対応して参ります。

[問] 断熱材事業において競合他社や価格競争は現れているのか？

[答] ヒーターモジュールについてのご質問かと思いますが、既に出てきています。中国では良くあることで、形を同じにして安い物を出してきます。ただ、リピートはなくなりませんし、他社は品質が悪いため、顧客は戻ってくると思っています。

[問] IR の電話対応だが、重要な事はメールでというのはわかるが、気楽な内容について電話で受けるなど、臨機応変に対応したらどうなのか？株主と一緒に夢が見られるようにしてほしい。

[答] 真摯に受け止め、ご意見として承ります。

[問] 福島工場の見学を以前にもお願いしましたが、いかがでしょうか？

[答 1] 検討しましたが、秘匿の材料や装置、生産方法があり見学は厳しい状況です。

[答 2] お客様からのご要望により、当社の社員も立ち入れないところもあります。セキュリティのレベルが上がっており、ご理解いただきたい。

[問] 中国の子会社からの配当再投資について、配当が入ってくるのかと、スキームのメリットを教えてください。

[答] 配当再投資については、中国側で税金がかからず、直接送金することで税金対策になります。何年か分の利益を受け取った形であり、今期は子会社からの配当は無い予定ですが、来期以降は利益次第で検討する可能性があります。

以上でございます。

数々のご質問・ご意見をいただき、ありがとうございました。

今後も、株主総会・経営近況報告会を株主様と経営陣の対話の場と位置付け、オープンに運営をしてみたいと存じます。

いただきましたご意見等は真摯に受け止め、株主の皆様のご期待に添えるよう努めて参ります。

役職員一同、社業の発展に邁進する所存でございますので、引き続きのご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月27日

株式会社アルメディア

代表取締役社長

高橋 靖